

第1回理事会・第1回評議員会 議決

令和元年度 事業報告

公益財団法人テクノエイド協会

目 次

I. 事業実施結果の概要	1
1. 福祉用具情報の収集及び提供に関する事業（公益目的事業1）	1
(1) 福祉用具情報システム（TAIS）事業	1
(2) 福祉用具ニーズ情報収集・提供システム事業	2
(3) 補装具製作者情報システム事業	2
(4) 義肢装具等完成用部品情報システム事業	2
(5) 自助具の製作支援等情報提供事業	2
2. 福祉用具の適合調整、使用指導等を行う福祉用具関係技能者の養成、 資格認定及び研修等に関する事業（公益目的事業2）	3
(1) 福祉用具プランナー養成事業	3
(2) 可搬型階段昇降機安全指導員の認定と講習会の実施	4
(3) リフトリーダー養成事業	5
(4) 高齢者のための車椅子フィッティングセミナー	5
(5) 認定補聴器技能者の養成	6
3. 福祉用具の臨床的評価に関する事業（公益目的事業3）	8
4. 福祉用具等に関する調査研究事業（公益目的事業4）	8
5. 義肢装具士国家試験の実施（公益目的事業5）	10
6. 認定補聴器専門店の認定に関する事業（公益目的事業6）	11
7. 福祉用具に関する書籍等の作成・編集及び販売に関する事業（収益事業）	11
8. その他	11
(1) 福祉用具関係団体の「福祉用具・福祉機器プラットホーム」 としての役割を果たすための連携・支援	11
(2) 啓発誌の発行	12
(3) 広報活動	12
(4) 海外調査の企画支援	12
II. 理事会・評議員会の開催状況	13
III. 評議員・役員の異動	15
IV. 賛助会員の現況	18
V. 委員会等の開催状況	19

I. 事業実施結果の概要

1. 福祉用具情報の収集及び提供に関する事業（公益目的事業1）

（1）福祉用具情報システム（T A I S）事業

福祉用具の効果的な利用を促進するための基盤整備として、全国の福祉用具製造事業者等及び福祉用具情報を一元的にデータベース化し、協会ホームページを通じて、市町村の介護保険担当者や福祉用具貸与事業者、利用者等に幅広く情報発信を行った。

令和元年度は、製品画像を最大5枚まで、また動画情報やPDFなどの情報登録も可能とし、データの充実を図り、既に福祉用具の情報を登録頂いている企業については、福祉用具情報登録の申請をWeb上から行えるようシステム改修を実施した。

《 令和2年3月末現在 情報総数 》

企業情報	814社
用具情報	13,696点

■福祉用具情報の分類別件数

大分類項目		登録件数	構成比(%)
03	治療訓練用具	918	6.7
06	義肢・装具	19	0.1
09	パーソナルケア関連用具	1,452	10.6
12	移動機器	5,573	40.7
15	家事用具	27	0.2
18	家具・建具・建築設備	4,851	35.4
21	コミュニケーション関連用具	772	5.7
24	操作用具	19	0.1
27	環境改善機器・操作用具	44	0.3
30	レクリエーション用具	5	0.1
89	その他の用具	16	0.1
合計		13,696	100.0

■介護保険対象用具(用具情報のうち)

貸与	10,294点
購入	1,344点
計	11,638点

■登録件数の推移

事業年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
企業情報件数 (対前年度増減)	712 (49)	749 (37)	788 (39)	808 (20)	814 (6)
用具情報件数 (対前年度増減)	9,702 (703)	10,551 (849)	12,138 (1,587)	13,063 (925)	13,696 (633)

(2) 福祉用具ニーズ情報収集・提供システム事業

協会ホームページを活用して、障害のある方や介護される方等から、福祉用具に関するご意見・ご要望、お困り事等の情報を収集し、これを全国のメーカーや研究者等へ提供することにより、障害者や高齢者等が真に必要とする使い勝手の良い用具の研究開発を推進する事業を行った。また、情報の投稿や検索の利便性を考慮し、携帯端末からも投稿等ができるようになった。令和元年度は、投稿状況のグラフ表示による視覚化、自動メール配信機能の付加、モニター評価協力機関の登録画面を設置する等の改修を行った。

令和2年3月31日現在 投稿件数 842件

(3) 補装具製作者情報システム事業

障害者総合支援法による補装具費支給制度は、障害者と補装具製作者との契約による制度であることから、障害者や市町村の担当者が義肢製作所の所在地や取扱い種目等の情報を適切に選定できるようにするため、当協会のホームページから情報提供を行っている。

《 令和2年3月末現在 情報総数 》

義肢製作所	250製作所
-------	--------

(4) 義肢装具等完成用部品情報システム事業

障害者総合支援法に基づく義肢装具等の完成用部品については、利用者の身体状況や使用環境に適合した適切な完成用部品が選定されるよう、当該部品の対象者やその効果、また適応範囲や調整方法等についての詳細な情報を当協会のホームページから情報発信している。

《 令和2年3月末現在 情報総数 》

企業情報	67社
部品情報	3,196点
(内 訳)	
殻構造義肢	701点
骨格構造義肢	1,209点
装具	699点
座位保持装置	587点

(5) 自助具の製作支援等情報提供事業

全国の自助具工房等が創意工夫しながら製作している自助具に関して、自助具製作に有用な材料やその工作法等の良質な情報を収集し、全国のリハビリテーションセンターをはじめ自助具工房等へ情報提供した。

令和2年3月末現在 登録数 既製品35件 製作事例16件

2. 福祉用具の適合調整、使用指導等を行う福祉用具関係技能者の養成、
資格認定及び研修等に関する事業（公益目的事業2）

(1) 福祉用具プランナー養成事業

福祉用具の選定や使用方法等に関する専門職として、また、福祉機器、福祉用具が適切に利活用できるように支援する役割を担う福祉用具プランナー養成研修会を実施した。

（修了者累計 15,057 名）

また、福祉用具プランナーのさらなる質の向上を図り、福祉用具プランナー研修等の指導者（講師）養成、福祉用具貸与事業者等の管理職養成を目的に、福祉用具プランナーの上級資格である「福祉用具プランナー管理指導者」の養成研修を実施した。（累計 129 名）

① 福祉用具プランナー養成研修

1) テクノエイド協会主催

- ・ eラーニング研修期間 令和元年12月6日（金）～令和2年1月31日（金）
- ・ 集合研修期間 令和2年2月15日（土）～21日（金）
- ・ 開催地 東京
- ・ 修了者 43名

2) 他団体主催（テクノエイド協会共催等）

a) 介護実習・普及センター

- ・ 開催地 北海道、富山、愛知、大分
- ・ 修了者 87名

b) その他 関係団体

- ・ 開催地 宮城、東京、滋賀、大阪
広島、沖縄
- ・ 修了者 230名

3) 教育機関主催（新潟医療福祉大学、国際医療福祉大学大学院、首都大学東京大学院、
西武学園医学技術専門学校、日本福祉大学、神戸医療福祉専門学校）

- ・ 開催地 新潟、東京、愛知、兵庫
- ・ 修了者 44名

■修了者の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
修了者 (対前年度増減)	530 (△91)	570 (40)	478 (△92)	330 (△148)	404 (74)

② 福祉用具プランナー管理指導者養成研修

開催コース	研修期間	開催地	受講者数
福祉用具工学コース	R1.7.13(土)～19(金)	東京	20名
管理・指導コース	R1.11.2(土)～8(金)	東京	21名

(2) 可搬型階段昇降機安全指導員の認定と講習会の実施

介護保険制度において可搬型階段昇降機の貸与事業者（福祉用具専門相談員）は、メーカー等による操作講習を受講し、貸与の際には利用者の家族等に実際に昇降機を使用させながら操作指導を行うことが義務付けられている。

従って、国内メーカー等で組織される「可搬型階段昇降機安全推進連絡会」と連携し、可搬型階段昇降機安全指導員講習（基礎講習（協会実施）及び機種別講習（メーカー実施））を実施し、一定の水準に達した者に可搬型階段昇降機安全指導員資格証を交付した。（安全指導員資格証交付者数累計 2,569 名）

① 基礎講習開催実績

1) テクノエイド協会主催

- ・開催地 東京、大阪、鹿児島、沖縄
- ・修了者 271名

2) 教育機関主催（国際医療福祉大学）

- ・開催地 東京
- ・修了者 2名

② 可搬型階段昇降機安全指導員資格証の交付実績

- ・交付者数 141名

■基礎講習修了者及び資格証交付実績の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
基礎講習修了者 (対前年度増減)	360 (185)	328 (△32)	208 (△120)	227 (19)	273 (46)
資格証交付実績 (対前年度増減)	144 (40)	221 (77)	197 (△24)	167 (△30)	141 (△26)

(3) リフトリーダー養成事業

施設等介護従事者の腰痛予防のため国の人材確保等支援助成金等を活用してリフト等の移乗用具を導入する際に、施設内で計画・相談・研修・指導の中核となる人材であるリフトリーダーの養成研修を実施した。(修了者累計 5,310名)

○リフトリーダー養成研修開催実績

①介護実習・普及センター主催（テクノエイド協会が共催）

- ・開催地 茨城、富山、福岡、大分
- ・修了者 121名

②各都道府県介護福祉士会主催

- ・開催地 宮崎
- ・修了者 19名

③JASPA介護リフト普及協会他

- ・開催地 北海道、宮城、長野、東京、愛知、滋賀、京都、
大阪、兵庫、鳥取、岡山、広島、香川、愛媛
- ・修了者 577名

④教育機関主催（国際医療福祉大学、飯田女子短期大学）

- ・開催地 東京、長野
- ・修了者 33名

■修了者の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
修了者 (対前年度増減)	630 (26)	516 (△114)	674 (158)	711 (37)	750 (39)

(4) 高齢者のための車椅子フィッティングセミナー

車椅子の相談に携わる福祉用具プランナーや福祉用具貸与事業者を対象として、高齢者のシーティングの基礎知識・技術、車椅子の選定・調整等を習得させ、その資質の向上を図るためのセミナーを実施した。

なお、車椅子や姿勢保持に関わる全国12団体がそれぞれの立場で研修を行ってきたものを再構築し、基礎分野の教育を効率的に行い、業界の人材を育成するため「車椅子姿勢保持適合技術連絡会」を発足した。この連絡会で、車椅子シーティングの基礎的な部分の共通テキスト、カリキュラムを作成し、令和2年度以降は、各団体で共通の基礎的研修会を開催することとした。

会場	開催日	修了者数
北海道会場	H31. 4. 27(土)～28(日)	48名
東京会場	R1. 2. 20(木)～21(金)	24名

■修了者の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
修了者 (対前年度増減)	29 (△78)	75 (46)	72 (△3)	87 (15)	72 (△15)

(5) 認定補聴器技能者の養成

補聴器の安全で効果的な利用を推進するため、補聴器の選定等の相談に応じ、購入希望者に対する適合調整を実施し、使用指導を行うために必要な補聴器に関する知識及び技能の習得を目的とした認定補聴器技能者の養成講習を行うとともに、認定試験を実施した。

さらに、平成30年4月から補装具費支給制度において、認定補聴器技能者が補聴器を調整する場合に加算額が支給されることに伴い、市区町村担当者が認定補聴器技能者の所在を確認することができる検索システムを構築し、協会ホームページから情報提供するとともに、当該技能者の名簿を各市町村等に配布した。

① 認定補聴器技能者養成講習会を次のとおり実施した。

1) 第Ⅰ期養成課程のeラーニング

区 分	受講期間	受講者数	修了者数
第Ⅰ期養成課程のeラーニング	R1.7.1(月) ~10.31(木)	708名	649名

2) 第Ⅰ期養成課程のスクーリング

区 分	開催日	場 所	受講者数	修了者数
第1回 第Ⅰ期養成課程のスクーリング	R2.1.23(水) ~1.24(木)	東 京	320名	310名
第2回 第Ⅰ期養成課程のスクーリング	R2.2.6(木) ~2.7(金)	東 京	275名	270名
合 計			595名	580名

※「修了者数」には、再受験での修了者も含む。

3) 第Ⅱ期養成課程の集合講習

区 分	開催日	場 所	受講者数	修了者数
第1回 第Ⅱ期養成課程の集合講習	R1.10.7(月) ~10.11(金)	東 京	264名	257名
第2回 第Ⅱ期養成課程の集合講習	R1.11.11(月) ~11.15(金)	東 京	294名	289名
合 計			558名	546名

※「修了者数」には、再受験での修了者も含む。

4) 第Ⅲ期養成課程の実技実習

区 分	開 催 日	場 所	受講者数	修了者数
第1回 第Ⅲ期養成課程の実技実習	R1.9.5(木) ~9.6(金)	東 京	232名	232名
第2回 第Ⅲ期養成課程の実技実習	R1.9.12(木) ~9.13(金)	東 京	202名	202名
合 計			434名	434名

5) 第Ⅳ期養成課程の集合講習

区 分	開 催 日	場 所	受講者数
福岡開催	R1.6.6(木)	福 岡	69名
大阪開催	R1.6.12(水)	大 阪	123名
東京開催	R1.7.26(金)	東 京	249名
合 計			441名

6) 認定補聴器技能者試験

区 分	試 験 日	場 所	出願者 (名)	受験者 (名)	合格者 (名)	合格率 (%)
第27回認定補聴器 技能者試験	R1.11.1(金)	東 京	446	444	369	83. 1

認定補聴器技能者試験合格者累計:5,017名(平成5年第1回~令和元年度第27回)

■受講者及び受験者の推移

	第Ⅰ期養成課程 eラーニング	第Ⅰ期養成課程 スクーリング	第Ⅱ期養成課程 集合講習	第Ⅲ期養成課程 実技実習	第Ⅳ期養成課程 集合講習	認定補聴器 技能者試験
平成29年度 (対前年度 増 減)	564 (△14)	498 (6)	478 (36)	433 (70)	355 (4)	352 (△17)
平成30年度 (対前年度 増 減)	663 (99)	610 (112)	437 (△41)	458 (25)	411 (56)	398 (46)
令和元年度 (対前年度 増 減)	708 (45)	595 (△15)	558 (121)	434 (△24)	441 (30)	444 (46)

② 認定補聴器技能者に対する講習を次のとおり実施した。

(資格更新のため、5年以内に指定された7科目の講習受講が必要)

区 分	課 目	開 催 日	場 所	受講者数
岡山開催	法規、音声・言語、障害者福祉・リハ、機能・音響	R1.6.2(日)	岡 山	107名
福岡開催	フィッティング、接遇、臨床医学、障害者福祉・リハ、法規、音声言語、機能・音響	R1.6.20(木)～ 21(金)	福 岡	234名
仙台開催	接遇、機能・音響、障害者福祉・リハ、臨床医学	R1.6.28(金)	仙 台	119名
大阪開催	法規、機能・音響、臨床医学、フィッティング、音声言語、接遇、障害者福祉・リハ	R1.7.3(水)～ 4(木)	大 阪	264名
名古屋開催	法規、音声言語、フィッティング、臨床医学	R1.7.10(水)	名古屋	207名
札幌開催	法規、音声言語、フィッティング、障害者福祉・リハ	R1.7.18(木)	札 幌	76名
東京開催	接遇、臨床医学、法規、障害者福祉・リハ、機能・音響、フィッティング、音声言語	R1.8.29(木)～ 30(金)	東 京	445名
合 計				1,452名

3. 福祉用具の臨床的評価に関する事業（公益目的事業3）

臨床的評価事業

福祉用具を利用する人の状態像や使用場面に着目して、製品の「安全性」や「利便性（使い勝手）」等の評価し、一定の基準を満たしたものとして認証された用具についての情報を提供した。

4. 福祉用具等に関する調査研究事業（公益目的事業4）

（1）厚生労働省の補助金等による事業

① 福祉機器開発普及等事業(7,922千円)

現在、「福祉用具ニーズ情報収集・提供システム」を運用することにより、障害のある方や介護される方等から、福祉用具に関するご意見・ご要望、お困り事等の情報を収集し、これを全国のメーカーや研究者等へ提供し、真に必要なとされる使い勝手の良い福祉用具の研究開発を推進しているところであるが、本システムが時代のニーズに対応し、より一層の効果的な運用に資するよう検討を行い、システムを新構築した。

具体的には、投稿状況のグラフ表示による視覚化、自動メール配信機能の付加、モニター評価協力機関の登録画面を設置する等の改修を行った。

令和2年3月31日現在 投稿件数 842件

② シーズ・ニーズマッチング強化事業(35,000 千円)

障害当事者のニーズをよりの確に捉えた支援機器開発の機会を創出すべく、障害当事者・団体と開発メーカー等によるシーズ・ニーズマッチング交流会を開催した。交流会では、開発を支援する機関も交えて機器開発に向けた活発な交流の場を設けた。

加えて、令和元年度は、交流会への来場が容易でない地域に当協会から出向き、地域の有識者と障害者及び関係者が集い、障害者の置かれている状況の共有から、課題解決に向けた、機器開発のコンセプトを検討するATAサテライトを開催した。その結果を当協会HPに掲載し開発の必要性を情報発信した。

【大阪開催】

- ・開催日 令和元年12月17日(火)～18日(水)
- ・場所 OMM(大阪マーチャンダイズマート)
- ・出展参加 60企業・団体
- ・来場者 345名

【福岡開催】

- ・開催日 令和2年1月14日(火)～15日(水)
- ・場所 福岡国際会議場
- ・出展参加 41企業・団体
- ・来場者 166名

【東京開催】

- ・開催日 令和2年2月12日(水)～13日(木)
- ・場所 TOC有明
- ・出展参加 81企業・団体
- ・来場者 523名

③ 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業(80,190 千円)

高齢者介護の現場において、真に必要なとされる福祉用具・介護ロボット(以下「介護機器等」)の開発に資するため、開発早期段階の介護機器等の意見交換を行う「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」、実機の試用を行い専門職が助言する「試作機器へのアドバイス支援事業」及び、実際の介護現場において使い勝手のチェック等を行う「モニター調査事業」を実施した。

一方、国民の誰もが介護ロボットについて、必要な知識が得られるよう普及・啓発を促進するため、「介護ロボット全国フォーラム」を開催し、介護機器等の体験・相談や関係団体等が講演を行うシンポジウムを実施した。また、介護施設が導入にあたって真に必要なとなる情報の在り方について検討WGを設置し、表示項目を取りまとめた。

また、福祉用具関係者を対象として、福祉用具使用のリスクマネジメントの能力を高める福祉用具安全推進員研修会(名古屋、仙台)の開催や福祉用具の利用に係るヒヤリハット情報を収集し、これまで371のヒヤリハット事例をホームページで公開している。

④ 福祉用具貸与価格適正化推進事業（17,925千円）

介護保険における福祉用具の給付のあり方については、平成30年度より、福祉用具における貸与価格のばらつきを抑制し、適正価格による貸与を確保するため、全国平均貸与価格や貸与価格の上限を公表等することとなった。

本事業では、こうした制度を適切に運用するため、厚生労働省及び公益社団法人国民健康保険中央会等と連携を図り、介護給付費請求書に記載する商品コード一覧を毎月（1日に更新）作成するとともに、令和元年度は4回（平成31年4月、令和元年7月、10月、令和2年1月）全国平均貸与価格及び貸与価格の上限の公表を行った。

併せて、協会内に貸与価格の適正化に関する相談窓口を設け、制度の円滑な実施に寄与したところである。

（2）消費生活協同組合の助成金による事業

○消費生活協同組合助成金事業（4,000千円）

高齢者の正しい姿勢を考えるためのシーティング知識について、施設職員、在宅のヘルパーや家族、事業者にわかりやすく伝えるため、委員会で検討し、正しい技術と、車椅子の選定・調整等の基礎について取りまとめ冊子を作成し、福祉用具関係者向けの研修等の中で活用する。

冊子名 福祉用具シリーズ Vol.24 「車椅子を知るためのシーティング入門」
印刷部数 1,900部
主な配布先 都道府県・政令指定都市、介護実習・普及センター 他

5. 義肢装具士国家試験の実施（公益目的事業5）

義肢装具士法による指定試験機関として、第33回義肢装具士国家試験を実施した。

- ・試験日 令和2年2月21日（金）
- ・試験地 東京
- ・合格発表 令和2年3月26日（木）

■試験結果

受験者数	合格者数	合格率
208人	164人	78.8%

第1回～第33回までの累積合格者数は5,722名

■受験者、合格者及び合格率の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
受験者数 (対前年度増減)	233 (△31)	254 (21)	232 (△22)	263 (31)	208 (△55)
合格者数 (対前年度増減)	196 (△42)	221 (25)	198 (△23)	235 (37)	164 (△71)
合格率	84.1%	87.0%	85.3%	89.4%	78.8%

6. 認定補聴器専門店の認定に関する事業（公益目的事業6）

補聴器の適正な利用・普及の一層の推進を図るため、所要の人的及び物的要件並びに事業運営上の基準に適合している補聴器販売店を「認定補聴器専門店」と認定するとともに、5年毎の更新認定を受けた店舗と合わせて認定補聴器専門店に関する情報を協会ホームページから情報提供するとともに、当該店舗の名簿を各市町村等に配布した。

令和元年度新規認定	92店
令和元年度更新認定	238店
令和2年度認定店	879店

■新規認定、更新認定及び認定店の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
新規認定 (対前年度増減)	39 (△4)	47 (8)	38 (△9)	38 (0)	92 (54)
更新認定 (対前年度増減)	101 (△106)	98 (△3)	78 (△20)	77 (△1)	238 (161)
認定店 (対前年度増減)	719 (65)	753 (34)	777 (24)	806 (29)	879 (73)

7. 福祉用具に関する書籍等の作成・編集及び販売に関する事業（収益事業）

福祉用具について学習する者のために、福祉用具関連書籍の販売を行っている。

書籍名	販売部数
福祉用具支援論	90
自助具ハンドブック	61
計	151

8. その他

(1) 福祉用具関係団体の「福祉用具・福祉機器プラットフォーム」としての役割を果たすための連携・支援

「福祉用具」関係者新年交流会の開催

福祉用具関係者の団体、行政関係者、企業などが一堂に会して報告や意見交換を行い、ネットワーク形成を行う場としての新年交流会を開催した。

- ・日 時 令和2年1月17日（金）14：00～19：00
- ・会 場 アルカディア市ヶ谷（霧島の間、阿蘇の間）
- ・参加者 110名（行政、専門職、メーカー、供給事業者等）
- ・内 容 第1部 関連団体報告会、第2部 懇親会

(2) 啓発誌の発行

啓発誌「アシスティブ・プロダクツ」を作成し、都道府県、関係機関等に配布した。

Vol	内 容
Vol18	テーマ「こころの中にあるバリア」
Vol19	テーマ「可能性を広げるために」

(3) 広報活動

- ① 「福祉用具の日」推進事業等に関連し、普及促進のためのパンフレット等を作成し、配布等を行った。
- ② 国際福祉機器展等への出展
 - 第46回 国際福祉機器展 (期間 R1. 9. 24～26) 東京ビッグサイト

(4) 海外調査の企画支援

テクノエイド協会の企画により、ヨーロッパ先進国における福祉用具開発・普及の状況、地域ケアシステム等の実情視察のための視察団を派遣した。

- ・訪問国 ドイツ
- ・期 間 視 察コース 令和元年9月17日(火)～9月23日(月)(7日間)
展示会コース 令和元年9月17日(火)～9月22日(日)(6日間)
- ・参加者 24名(視察コース：13名、展示会コース：11名)

Ⅱ. 理事会・評議員会の開催状況

開催年月日	回次	主な議題等	出席等
令和元年5月29日	第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ①平成30年度事業報告及び決算 ②第1回評議員会の開催 ・報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ①基本財産の運用状況について ②職務の執行状況について 	決議に必要な出席理事の数8名(出席12名、欠席3名)、監事出席1名
令和元年6月19日	第1回評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ①平成30年度事業報告及び決算 ②任期満了に伴う評議員の選任 ③任期満了に伴う役員の選任 ・報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ①職務の執行状況について ②基本財産の運用状況について 	決議に必要な出席評議員の数8名(出席14名、欠席1名)
令和元年7月1日	第2回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 <ul style="list-style-type: none"> 理事長及び常務理事の選定 	議題について、理事15名全員の書面による同意及び監事2名の書面により異議がないことの意味表示を得た
令和元年7月31日	第3回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業計画及び予算の変更 	議題について、理事15名全員の書面による同意及び監事2名の書面により異議がないことの意味表示を得た
令和元年8月30日	第2回評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 <ul style="list-style-type: none"> 評議員の選任 	議題について、評議員15名全員の書面による同意する旨の意味表示を得た
令和2年1月31日	第4回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度第3回評議員会の招集 	議題について、理事15名全員の書面による同意及び監事2名の書面により異議がないことの意味表示を得た

令和2年2月26日	第5回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ①令和2年度事業計画及び予算 ②諸規程の改正 ・報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 職務の執行状況について 	決議に必要な出席理事の数8名(出席12名、欠席3名)、監事出席2名
令和2年2月26日	第3回評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ①令和2年度事業計画及び予算 ②諸規程の改正 ③評議員の選任 ・報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 職務の執行状況について 	決議に必要な出席評議員の数8名(出席10名、欠席5名)

Ⅲ. 評議員・役員の異動

1. 令和元年6月19日 第1回評議員会

(1) 任期満了に伴う評議員の退任・選任

氏名	摘要	所属等
秋葉都子	重任	一般社団法人 日本ユニットケア推進センター 専務理事
荒井康善	重任	一般財団法人 全日本ろうあ連盟 理事
阿部一彦	重任	社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会 会長
阿部秀実	重任	NPO 法人 日本補聴器技能者協会 理事長
伊藤利之	重任	横浜市リハビリテーション事業団 顧問
小野木孝二	重任	一般社団法人 日本福祉用具供給協会 理事長
木村憲司	重任	一般社団法人 日本福祉用具・生活支援用具協会 会長
小寺一興	重任	帝京大学医学部 名誉教授
佐藤誠	重任	一般社団法人 日本補聴器販売店協会 理事長
清水順市	重任	一般社団法人 日本作業療法士協会
竹下義樹	重任	社会福祉法人 日本盲人福祉委員会 理事長
土肥徳秀	重任	介護老人保健施設 成田富里徳洲苑 医師
土肥健純	重任	東京電機大学総合研究所 特命教授
野坂利也	新任	公益社団法人 日本義肢装具士協会 会長
山内繁	重任	NPO 法人 支援技術開発機構 理事長

氏名	摘要	所属等
坂井一浩	任期満了	公益社団法人 日本義肢装具士協会 前会長

(2) 任期満了に伴う理事の選任

氏名	摘要	所属等
大橋謙策	重任	(公財) テクノエイド協会 理事長
長田信一	重任	(公財) テクノエイド協会 常務理事・事務局長
江澤和彦	重任	(公社) 日本医師会 常任理事
江波戸一敏	重任	(社福) 浴風会 専務理事
小林光俊	重任	学校法人敬心学園 理事長
澤村誠志	重任	兵庫県立総合リハビリテーションセンター 顧問
杉原素子	重任	国際医療福祉大学大学院 教授
助川未枝保	重任	(社福) 六親会 船橋市三山・田喜野井地域包括支援センター長
諏訪基	重任	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 顧問
田中徹二	重任	(社福) 日本点字図書館 理事長
徳田章三	重任	(一社) 日本義肢協会 理事長
成澤良幸	重任	(一社) 日本補聴器工業会 理事長
日野博愛	重任	(社福) 全社協 全国身体障害者施設協議会 会長
松永紀之	重任	(一社) 日本車椅子シーティング協会 代表理事
山下和洋	重任	日本在宅医療福祉協会 副会長

(3) 任期満了に伴う監事の選任

氏名	摘要	所属等
瀬山剛	重任	港総合会計事務所 公認会計士・税理士
山田秀昭	重任	関東学院大学社会学部 客員教授

2. 令和元年7月1日 第2回理事会

理事長及び常務理事の選定

役職名	氏名	摘要
理事長	大橋謙策	再任
常務理事	長田信一	再任

3. 令和元年8月30日 第2回評議員会

評議員の辞任・選任

氏名	摘要	所属等
清水順市	辞任	前 一般社団法人 日本作業療法士協会 理事
小林毅	新任	一般社団法人 日本作業療法士協会 理事

4. 令和2年2月26日 第3回評議員会

評議員の辞任・選任

氏名	摘要	所属等
土肥徳秀	辞任	介護老人保健施設 成田富里徳洲苑 医師
岩元文雄	新任	一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会 理事長

IV. 賛助会員の現況

1. 会員の構成（令和2年3月末現在）

法人会員：67団体（88口） 個人会員：10名（10口）

【内 訳】

属 性	会員数	構成比
福祉用具製造事業者	46	59.7%
福祉用具供給事業者	1	1.3%
関係団体	11	14.3%
その他の企業	9	11.7%
個人	10	13.0%
計	77	100%

2. 入会及び退会

○入会（法人1団体、個人3名）

○退会（法人8団体、個人7名）

V. 委員会等の開催状況（テクノエイド協会が主催等を行うもの）

開催日	行 事 等
4月4日	福祉用具シリーズ小冊子作成委員会
4月19日	認定補聴器専門店 申請事務説明会
4月24日	第1回 介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会部
4月27日	車椅子フィッティングセミナー（札幌開催）
5月2日	福祉用具シリーズ小冊子作成委員会
5月10日	認定補聴器専門店 申請事務説明会
5月17日	監事監査
5月20日	福祉用具プランナー研修 試験委員会
5月27日	第2回 介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
5月29日	第1回理事会
6月2日	認定補聴器技能者に対する講習会（岡山開催）
6月6日	認定補聴器技能者養成事業第Ⅳ期講習会（福岡開催）
6月7日	可搬型階段昇降機基礎講習会（鹿児島開催）
6月12日	認定補聴器技能者養成事業第Ⅳ期講習会（大阪開催）
6月13日	福祉用具シリーズ小冊子委員会
6月18日	福祉用具プランナー研修 試験委員会
6月19日	第1回評議員会
6月20日	認定補聴器技能者に対する講習会（福岡開催）
6月25日	認定補聴器専門店 書類審査委員会議 第3回 介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
6月28日	認定補聴器技能者に対する講習会（仙台開催） 可搬型階段昇降機基礎講習会
7月3日	認定補聴器技能者に対する講習会（大阪開催）
7月8日	認定補聴器専門店 実地調査委員会議
7月9日	介護ロボットメーカー連絡会議
7月10日	認定補聴器技能者に対する講習会（名古屋開催）
7月13日	福祉用具プランナー管理指導者養成研修「福祉用具工学」コース（会） ～19日
7月17日	シーズ・ニーズマッチング強化事業 交流会 第1回企画委員会
7月18日	認定補聴器技能者に対する講習会（札幌開催）
7月25日	第4回 介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会

7月26日	認定補聴器技能者養成事業第Ⅳ期講習会（東京開催）
7月29日	義肢装具国家試験 方針決定・出題依頼会議
8月4日	補聴器協議会
8月16日	福祉用具シリーズ小冊子作成委員会WG
8月26日	第5回 介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
8月28日	補聴器技能者試験部会 問題選定会議 福祉用具シリーズ小冊子作成拡大委員会
8月29日	認定補聴器技能者に対する講習会（ベルサール半蔵門）
9月3日	福祉用具シリーズ小冊子作成委員会
9月5日	第Ⅲ期養成課程講習会（ベルサール御成門タワー）日程① ～6日 可搬型階段昇降機基礎講習会（沖縄開催）
9月9日	義肢装具士国家試験 問題選定会議
9月12日	第Ⅲ期養成課程講習会（ベルサール御成門タワー）日程② ～13日
9月17日	REHACARE 2019（ドイツ） ～23日
9月24日	第6回 介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
9月27日	補聴器技能者試験部会 問題校正会議
10月7日	第Ⅱ期養成課程集合講習（ベルサール半蔵門）日程① ～11日
10月9日	福祉用具ニーズ情報の収集・提供の在り方に関する研究 検討委員会
10月11日	可搬型階段昇降機基礎講習（大阪開催） 第1回ATAサテライト（高知開催）
10月18日	第1回ATAサテライト（岩見沢・クビドフェア）
10月21日	義肢装具士国家試験 問題決定会議
10月23日	第1回ATAサテライト（佐賀開催）
10月25日	第7回 介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
10月27日	福祉用具シリーズ小冊子委員会
11月1日	認定補聴器技能者試験（ベルサール汐留）
11月2日	福祉用具プランナー管理指導者養成研修「管理・指導」コース（会） ～8日
11月11日	第Ⅱ期養成課程集合講習（ベルサール半蔵門）日程② ～15日
11月18日	義肢装具士国家試験 問題検閲会議
11月19日	福祉用具シリーズ小冊子委員会 福祉用具ヒヤリハット等検証事業 安全推進員研修会（名古屋）
11月21日	第8回 介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
11月22日	認定補聴器技能者試験採点作業

11月25日	認定補聴器技能者試験採点作業
11月26日	福祉用具ヒヤリハット等検証事業 安全推進員研修会（仙台開催）
11月29日	認定補聴器技能者試験採点作業
12月2日	認定補聴器技能者試験採点作業
12月5日	認定補聴器技能者試験採点作業
12月6日	認定補聴器技能者試験採点作業
12月9日	義肢装具士国家試験 問題校正会議
12月10日	第2回ATAサテライト（佐賀開催）
12月13日	補聴器技能者試験部会 合否判定会議
12月17日	シーズ・ニーズマッチング交流会（大阪会場）～18日
12月20日	第2回ATAサテライト（高知開催）
12月25日	第9回 介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
1月7日	義肢装具士国家試験問題精査作業
1月8日	介護ロボットの導入にあたって必要とされる情報の在り方調査 第1回WG
1月14日	シーズ・ニーズマッチング交流会（福岡会場）～15日
1月17日	「福祉用具」関係者新年交流会（アルカディア市ヶ谷）
1月20日	第2回ATAサテライト（岩見沢開催） 義肢装具士国家試験問題最終校正会議
1月21日	ISO/TC173/SC2国内委員会
1月23日	第I期養成課程スクーリング日程①（ベルサール半蔵門）～24日
1月24日	介護ロボット全国フォーラム（TOC有明）
1月26日	補聴器技能者養成部会
1月27日	第10回 介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
2月6日	第I期養成課程スクーリング日程②（ベルサール半蔵門）～7日
2月8日	認定補聴器専門店 実地調査委員会議 認定補聴器専門店 審査部会
2月11日	補聴器協議会
2月12日	シーズ・ニーズマッチング交流会（東京会場）～13日
2月13日	可搬型階段昇降機安全指導員（基礎）講習会
2月14日	可搬型階段昇降機安全指導員（基礎）講習会

2月15日	福祉用具プランナー研修（都財団）～21日
2月18日	福祉用具ヒヤリハット等検証事業委員会
2月20日	車椅子姿勢保持基礎講習会（高齢分野）（江戸川区） ～21日
2月21日	第33回義肢装具士国家試験（バルサル夕留）
2月25日	第11回 介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
2月26日	第5回理事会 第3回評議員会
3月9日	シーズ・ニーズマッチング強化事業 第2回交流会企画委員会
3月10日	第2回 介護ロボットモニター調査検討委員会（主婦会館）
3月11日	義肢装具士国家試験 問題審査・合否案決定会議
3月12日	介護ロボットの導入にあたって必要とされる情報の在り方第2回WG
3月13日	福祉用具ニーズ情報の収集・提供の在り方に関する研究 第3回 検討委員会
3月26日	義肢装具士国家試験 合格発表

